

茨木市市民会館跡地エリア活用基本構想案について、工期等その他課題からの検討

茨木市跡地活用検討委員会で検討されている敷地案についてはB案が有力敷地案とされています。広さは足りているかを考える時、どちらも少し狭く、舞台&バックヤードや搬入路等が削られる事が懸念されます。検討してみるとC案も考えられます。又 将来に向けて総合的な観点から、D案 跡地構想案+阪急茨木東口構想の統合を提案させていただきます。

C案は工事の関係で難しいと伺っています。この点について市側からの詳しいご説明がいただければ幸いです。

◎:優れている ○:やや優れている △:やや劣る

項目	課題等	A案 現地建替え案		B案 南グラウンド建築案		C案 北グラウンド建築案		D案 統合案
		判定	内容	判定	内容	判定	内容	
工期	延長リスク	△	解体工期の延長が施設完成時期に直結する。また、建設工事において騒音等による延長リスクが生じる。	◎	解体と建設を別の場所で行う為、解体が工事に影響しない。また、建設工事において騒音や延長リスクが少ない。	◎	B案に同じ。 新ホール完成まで福祉文化会館を活用し、市民会館跡地の解体を優先させる。	茨木市市民会館跡地エリア活用基本構想には入っていませんが、将来を見つめた時、阪急東口を同時に構想に含めた検討が望ましい。
建設			道路側が第7種高度地区(31m)、養精中学側が第5種高		第7種高度地区(31m)であるが、新施設を複合施設とし2階以	デ	都市計画の変更が必要か?	福祉文化会館は会館完成のまでの間、代替えを採るとあるものの、A,B,C案の中に文化ホー

跡地エリア構想案2

制限等		△	度地区(22m)の高さ制限あり、ホール建設には都市計画の変更が必要。	△	上にホールを建設する場合、高さが足りなくなる可能性があり、都市計画の変更が必要である。	タ	高度地区による高さ制限無し	ルに替わるものを設置するのは用地の点で困難であると考えます。 枠下に総合案について記述。
	都市公園の指定	○	新施設には影響はないが、人口台地は腰講演の指定があり、用途(公園施設のみ)や規模(一〇〇〇節面積は公園敷地の10%まで)の制限あり。	△	南グラウンド全体が都市公園であり、施設の規模(建設面積)によって箱師計画の変更が必要。	○	A案に同じ(人口台地に関して)	
その他	グラウンドへの影響	○	工事期間中、北グラウンドの利用が制限されるが、完成後の影響は少ない。	△	芝生化を行うと、スポーツ利用者への影響が大きい。イベント等については、一定可能であると考えられるが、車両の乗り入れ等新たな制限も生じる。	○	北グラウンドが使用できなくなるが、南グラウンドを使用。	
	養精中学校との関係	△	解体、建設工事が長期に及ぶため学生は工事の影響を受ける。又、建設によりプールへの管理通路がなくなる。新施設にはプール側に窓を設けない等の配慮が必要である。	○	プールへの管理通路を残す必要があるが施設配置で対応可能。	◎	A・B案のリスクが無くなる。	

跡地エリア構想案3

駐 車 場	○		○	○ 完成後は駐車場から濡れずに 会館に入れる。 △ 一時使用できないが、建設中 市民会館跡地を利用可能に する。	
ホ ー ル と 周 辺 の 環	○		△ 消防本部が近く緊急車両のサイ レンがホールに及ぼす影響が懸 念される。 消防署前の道路が狭くなってお り、現在市役所の駐車場利用者 だけでも渋滞している。どうす るのか？	○ B案のリスクが無くなる。	
会 館 の 規 模	△	敷地の不整形や狭小など、ホー ル機能の配置にさまざまな制約 がある。	？ 緑地と南グラウンドの一部の土 地面積でB案の施設構成が可能 かどうか？ 舞台とバックヤード(舞台裏)が 十分確保できるか。	○ B案の施設構成イメージが可 能である。 大ホール(1200～1300 席)、多目的ホール、子育て 支援、憩い機能、にぎわい・交 流空間等。	A、B、C案のいずれかと阪 急東口
福 祉 文 化 会 館	？	新施設に文化ホールの代わりと なる小ホールは出来るか。	◎ 会館建設中、福祉文化会館使用 で代替施設(4.8億)を借りずに 済む。 新施設に 文化ホールの代わりとなる小 ホールは出来るか。 ？	◎ 会館建設中、福祉文化会館 使用で代替施設(4.8億)を借 りずに済む。 新施設に文化ホールの代わり となる小ホールは出来るか。 ？	福祉文化会館は代替えを探 すところものの、A,B,C案の 中に文化ホールに替わるも のを設置するのは困難であ ると考えます。交通の便が 良く手頃な小ホールは必要 です。

跡地エリア構想案4

交 通 の 利 便 性	○	以前と同条件であるので茨木市 民にはなじみのある場所である がJRから来る初めての人に取っ ては、見通しが利かないので少 し遠く、不安を感じる。	◎ 茨木市民にとっては市役所の前 でもあり、知った場所である。JR 茨木駅から真っ直ぐ大きな通りを 歩くのは迷う事も少なく、来館者 にとってストレスは少ないし、近く 感じる。	△ JRから来る初めてのの人に取っ ては、見通しが利かないので 少し遠く、不安を感じる。駅前 通りに面しない分、A案より遠 くなる。	阪急東口は阪急沿線の客を 見込める。
メ リ ッ ト				◎ ？ B案の緑地購入9億1千万円 が必要無くなる。 その分を北グラウンド地下駐 車場の工事費に回せる。	◎ 枠下に総合案が何故必 要かその根拠を述べさせて いただきます。

(提 案)

阪急茨木市駅東口との統合案

★ 阪急東口にホールを建設する構想は駅直結で利便性が良く、茨木市民はもとより他市からの多くの利用者や文化の交流にも発展する素晴らしいものです。大きく発展すると思わせる希望の光の様に感じました。

跡地構想は市民にとって慣れ親しんだ場所で、市の中心であることからとても良いと考えます。但し、福祉文化会館(文化ホール)を含めこの旧跡地構想が市民に外からの影響を取入れ、交通の利便性を活用し、門戸を外に開く大きな意味の活性化まで進むか、広さは足りているかと考えると、どちらも少し狭く、足らなくて、バックヤードや搬入路等が削られるのではないかと懸念します。豊かな文化行政と次世代育成等、多くの市民の望みを実現させるためには、跡地だけでなく、阪急東口の構想も必要と考えます。

★ 福祉文化会館の代わりになる施設を阪急東口に入れる必要があります。

★ 一例として、西宮北口直結の兵庫県芸ホールは駅から雨にぬれずに会館に行ける事もあり、他市からも多くのお客様が足を運び集客力が良い。

★ 旧跡地構想で建設される大ホールはプロセニウムとすると、阪急東口に建設されるホール規模は、中ホール(600～500前後)と福祉文化会館文化ホールに替わる多目的レセプションルーム(200～300名収容、平土間)が望ましい。さらに中ホールはワインヤードやシューボックスが望ましい。

★ ホールには練習室とリハーサル会場が必要です。

★ 文化交流センター的なオープンスタジオ、ワークスタジオ、そして文化芸術団体や学生、アーティストの作品の発表とPR、物品販売も出来るオープンな場所です市民が憩い、子育てや未来の人材育成にも役立つと考えます。

★ 駅中のレストラン&各商店が利用出来、にぎわいの場として期待できます。

★ 茨木市の情報発信機能を持ち、総合的な文化の交流と発進出来る場として、ホール、スタジオ、展示会場、画廊、上層階にホテル、地下には駐輪、駐車場、発電等の機能を持たせればとても素晴らしいものとなるでしょう。

【費用合計】

案	施設建設	駐車・地下施設	福文代替施設	土地購入	広場整備	合 計
A案	98億円	2.8億円	4.8億円	なし	0.3億円	105.9億円
B案	98億円	0.5億円	4.8億円?	9.1億円	1.9 億円	109.5億円
C案	98億円	?	完成まで使用するとして?	?		
D案	?	?		?	?	

経費面からの検討

C案は?の部分で ①北グラウンド地下駐車場の工事費用はどれくらいか。

②北グラウンドの一部が土地購入の対象になっているか。

③広場整備費がはどの位か。

舞台とバックヤード等資料

茨木市音楽芸術協会2017.10月作成1

新しいホールに必要な設備								
	延床面積 約 m ²	席数	間口 /m	奥行/ m	高さ/m	袖舞台(上手 下手)間口/ 奥行	設備、バトン、搬 入口 等	その他
望ましい芸術文化ホ ール		1200～ 1300～ 1500	19	19	10	10/15m	大小の迫りつき 20本位のバト ン 11tトラック駐 車、搬入可能 な搬入口	新ホールには間口と奥行が同じ長さが望 ましい。 袖 舞台は大勢の人々が待機する場所や大道 具を置いておくためのスペースが必要。 舞台と同じ広さのリハーサル室 オーケストラピット & 花道 オーケストラピットは仮設ではなく、電動を 提案します。 楽屋と部隊が同じスロアが良い。但し、練 習やウォーミングの音が舞台に聞こえない 事。 舞台の温度管理、客席の温度湿度を管理 する指示板、客席、ロビーのモニターがあ る。
茨木市内のホール	延床面積	席数	間口 /m	奥行/ m	高さm	袖舞台(上手 下手)間口/ 奥行	設備、バトン、搬 入口 等	その他
旧 茨木市市民会館		1,003	16.8	9.2	8		搬入口 W2,55m× H2m	舞台に直接荷物や楽器を搬入出来ない。
立命館フューチャープラザ 大ホール		1000	20	8.5	9.7			

舞台とバックヤード等資料

茨木市音楽芸術協会2017.10月作成2

市民総合センター クリエイティブセンターホール	744.77	429	11.9	(框～ホ リゾント) 9.1	6.8		バトン飛切高 14m, 緞帳前 1.3m, 客席前	舞台袖に舞台の温度管理、客席の温度湿 度を管理する指示板、ロビーのモニターが ない。
市民総合センター 多目的ホール	228.9	165			床から天 井までの 高さ6.6 m			180.83m ² (54.7坪) 舞台なし。平土間 形式。
茨木市福祉文化会館ホール	409.5	347	11	6.4	4.0			楽屋と袖が共有。交通の便が良い。客席 人数は手頃である。
生涯学習センター きらめきホール	10,923.1 8m ² /3 81.5m ²	478	10	9.5				移動式ステージ(2m×1m)による舞台増 設可駅から離れているため遠方からの客 は望めない。舞台が狭く高さも低い。
男女共生センター ワムホール	263	188	8.6m (音響 反射)	4.7m (最大 5.9m)	4.2		なし	バックヤード無し、舞台袖は狭く、通風の 音大きい。交通の便が良い。客席数の わりには費用がかかる。
旧 ドリームホール		約150- 200						バックヤードなし。交通の便が良い。大き さが手頃で費用もリーズナブルで重宝で あった。固定席なし。平土間形式

舞台とバックヤード等資料

茨木市音楽芸術協会2017.10月作成3

近隣のホール	延床面積 ㎡	席数	間口 /m	奥行/ m	高さm	袖舞台(上手 下手)間口/ 奥行	設備、パトン、搬 入口 等	その他
尼崎アルカイクホール		2030- 1820	54	18	5.5-10 寛の子 高さ 22.5		バックヤードが 広くオペラ公演 が可能である。	プロセニウム幅14-20、プロセニウム高 5.5-10、オーケストラピット、大迫(舞壇内 蔵)、小迫
池田市民文化会館アゼリア ホール	8,365	1,072						平成29年度改修工事のため休館、小 ホール245席
大阪狭山市文化会館 SAYAKA		1208	18	17.5	7-9			
河内長野市立文化会館ラブ リーホール		1308	15-19	19	6-8.5			
堺市芸術文化ホール	19,650	2,000						平成30年(2018年)竣工予定、市民会 館施設設備の老朽化に伴う建替え事業、 小ホール312席
三田市郷の音 大ホール		986	18	17.2				残響可変 オーケストラピット、脇花道、奈 落 可動プロセニウム
吹田市メイシアター	16,120	1397	18	17				平成29年度改修工事のため休館 中 ホール492席、小ホール156席
摂津市民文化ホール	2,858	452	14	12	6			改装により客席数を以前より少なく、座席 を広くして心地良さを、響きを重要視し良 い響きを求めた。

舞台とバックヤード等資料

茨木市音楽芸術協会2017.10月作成4

高槻現代劇場 大ホール	10,032	1564	19	10	9.5			市民会館老朽化のため建替え事業、平成 34年2022年竣工予定
豊中市文化芸術センター	13,425	1344	16-20	14.5	9-12			駐車場と搬入口が同じで地下であるため 少し不便である。
西宮市民会館アミティホール		1180						西宮市は他にフレンテホール、プレラホー ル、なるお文化ホール、甲東ホール、山口 ホール等中小ホールがある
東大阪市文化創造館	14,000	1,500						平成31年(2019年)竣工予定、機能集 約を目的とした整備事業、小ホール300 席、その他付属諸室
姫路市文化センター		1657	18.5	16	8		舞台総面積 630㎡ 総面積 4864㎡ オー ケストラピット 迫り花道	他に姫路市民会館(800席)あり
兵庫県立芸術センター大 ホール		2001	18	17				中ホール 小ホール
枚方市総合文化芸術セン ター	13,200	約1500						平成31年(2019年)竣工予定/敷地面 世13300㎡建設面積6600㎡延床面 積13300㎡ 小ホール400席、その他付 属諸室
枚方市民文化会館		1448						老朽化により取り壊し予定
箕面市新文化ホール	7,700	1,000- 1,400						平成33年(2021年)竣工予定、小ホール 250席、その他付属諸室

舞台とバックヤード等資料

茨木市音楽芸術協会2017.10月作成5

八尾市文化会館プリズムホール		1440	16.21	18			美術パトン15 大迫り13×3	
良質のコンサートホール ／お金を払ってでも行き たいと思えるホール	延床面積	席数	間口／ m	奥行／m	高さm	袖舞台(上手 下手)間口／ 奥行	設備、パトン、搬 入口 等	その他
いずみホール		821	19.5	10.5	14.75			住友生命がウィーン楽友協会ホールに 倣って建設。シューボックス型
シンフォニーホール		1704						アリーナ・シアター形式 残響2秒 朝日放送 創立30周年記念事業 ヘルベルト・カラヤ ンに世界一の音響と言わしめた。残響2秒 (満席時)を実現するための理想的な座席 数として設定
フェスティバルホール		2700	24.3 -30	12.6	20		オーケストラ ピット	建設当初から素晴らしい響きであったが、 改装後さらに良い響きと心地よい空間と なった。搬入が以前は大変であったが大 きなエレベーターや搬入路が設置され、 バックヤードも広く機能的になった。プロセ ニアム 開口可変装置
多くのニーズに応える ホールと交流センター	延床面積	席数	間口 ／m	奥行／ m	高さ	袖舞台(上手 下手)間口／ 奥行	設備、パトン、搬 入口 等	その他

舞台とバックヤード等資料

茨木市音楽芸術協会2017.10月作成6

札幌市民交流プラザ ★低層棟4～9 階/札幌文 化芸術劇場 ★3 階/音楽、演劇、バレ エ、ダンス等のリハーサルや 練習に使用できる大小練習 室 ★1、2 階/札幌文化芸術交 流センター ★ 札幌市図書・情報館 札 幌の魅力を発信するととも に、仕事に役立ち、暮らしを サポートする情報提供施設 ★屋内広場/(クリエイティブ モール)展示や小規模のイベ ントを実施できる多目的な広 場	施設面積 (札幌市 専有部 分) 37,332 ㎡	2300	20.1	21.4- 36.9	14-29.6			オープン予定日 平成30 年10 月7 日 (日) 低層棟部分が札幌市民交流プラザ 北海道初の多面舞台を備えたホール 高層棟/放送局・民間オフィスビル 地下1階/公共駐輪場(約750台)・荷捌 き場 地下2～3階/地下通路入口(地下2階) 地下駐車場(約380台) 地下4階/地域冷暖房プラント発電や冷 暖房の熱を製造し、周辺ビルに供給する 施設 地下鉄3路線が集まる場所に市民の要望 を集約したセンターを建設、 文化芸術活動の振興や市民交流の促進、 文化芸術・観光
--	--	------	------	---------------	---------	--	--	--

茨木市にあるホールの状態について

旧市民会館（大ホール）

舞台が狭い。オーケストラ全員が舞台に並ぶだけのスペースがない為、2.7mの張り出しの舞台を組立て、広くして催しを行っていた。（多額の費用80万円が必要であった）

舞台の後ろは狭い。やっと人ひとりが歩けるだけのスペースのみで、舞台展開等が不可能であった。

舞台袖も狭すぎる。合唱等のときは楽屋からの階段や客席の横で待機しなくてはならなかった。楽屋から舞台への階段は長い裾のドレスで歩くのは危険で、ドレスをたくし上げて階段途中で待たねばならないこともあり、段差も大きかった。

間口16.8m 奥行9.2m 高さ8m 搬入口シャッターW2,55m×H2m 図別紙

市民総合センター クリエイトセンターホール

バックヤードに舞台転換を行うためのセットを置いておく場所がない。外部廊下から舞台袖に入るとすぐ横が舞台である。ドアを開けると外部廊下の音がもろに舞台や客席に聞こえる可能性がある。この楽屋口ドアや客席のサイドから予期しない乱入者があるかもしれないと考えられ、とても危険である。終演するかどうかの時に楽屋口ドアから客たちが大勢入って来て舞台袖がいっぱいになった事があり、防ぎきれなかった。楽屋から舞台への動線は階段使用でエレベーターがなく、ドイツ人のバリトンの演奏者は膝が悪く、下階の楽屋は使用出来なかった。箏の場合、曲によって調弦が変わるとか演奏のすぐ前に調律が必要な場合は舞台袖で調律するわけにはいかず、仕方なく地下1階の楽屋で調律をし、舞台衣装（和服）に着替え楽器を抱えて階段を昇り降りするのは大変である。舞台転換が出来るだけのスペースが充分ではない。楽屋より舞台への階段は、旧市民会館の会場内の階段と同じようなPタイルが使用されていて、滑りそうで危険である。演奏者は底が平たい滑り難い運動靴のような靴を履く訳にも行かず、注意しているとは言え心配である。楽屋から舞台へ移動する途中で誰かに合う可能性もあり、会館利用でない一般の人々が、ホールサイドのドアを開ける可能性もあり、セキュリティは確保されていない。

舞台の温度管理、客席の温度湿度を管理する指示板、客席、ロビーのモニターがない。ステージマネージャーは舞台袖を離れられないので、小人数で舞台を動かしているとき、管理室まで「通風止めて下さい、温度低過ぎです、高過ぎです」等と言いに行くのは大変である。舞台が暑過ぎたりライトが明るすぎると貴重な楽器が損傷する事もあるので心配である。温度湿度が一定に保てるような舞台、客席で風の音が気になる等、演奏者からも客からも苦情がある。

市民総合センター 多目的ホール

平土間形式で、備品としてピアノが設置されていない。バレエや展示会に使用されているが演奏会等には使用しにくい。舞台、バックヤードなし。電動の移動式の席はぎしみの音がしたり揺れたりの可能性はある。

男女共生センター ワムホール

舞台の後のスペースなし。結果、下手から出場するためには、舞台衣装を着て上手にある楽屋を出る。客と共用の外部の通路である周りの廊下を（客席後方にはホール入口があるが通り抜けて）ぐるりとまわり、舞台下手に行かねばならない。

チェンバロ等の長い楽器はそのまま入れられれば良いが、無理なので立てて入れようとしてもエレベーターの天井にもつかえる。これら長尺で重いものなどを上げるため使用するエレベーターが小さくて入らない。手で階段を降るさねばならない。舞台へ載せるのも人力で上げなければならない。舞台上に載せたとしても袖やバックヤードがないので、使用しないときも舞台上においておかねばならない。

舞台への階段の幅が狭い。イブニングドレス等幅の広い長いスカートはおさえてたくし上げ、しかも足元が見づらいため、階段はヒールを手に持って昇るなど、また、高齢の人は膝が良くない方も多数おられ、身障者用の昇降椅子があるが、一人用なので他人数には対応していない。その機械を利用する程でなくとも不自由な人には大変である。

舞台袖は通風の音がとても大きく、出番を待つ緊張している時は、集中したいのに、気が散り音で疲れる。

福祉文化会館ホール

楽屋と舞台袖を共用で使用。天井が低い。舞台が高く、客は見上げなければならないため、前方の席の人は首が痛くなる。

バックヤードはない。エレベーターが小さくて、載らない楽器がある。楽器チェンバロ等を搬入するために5階まで担ぎ上げるのは不可能である。人手不足の折から、たとえ集められたとしても大変である。業者に頼むと多額の費用がかかる。舞台に上げるのには、搬入路や袖からは不可能である。客席から人手で上げる事になり、搬入等についての配慮がされていないと思われる。

生涯学習センター きらめきホール

舞台が狭いため備え付けのフルコンサートピアノを置くと人が立つ場が狭くなり、舞台いっぱいピアノが占領しているかのような印象に見える。舞台奥行スペースが狭い。ピアノの前ではなく楽器が凹んだベントサイドのところで歌うとか、楽器から離れた横の場所で演奏しなければならず、演奏者間のコンタクトが取りにくい。舞台の天井の高さも低く、ピアノのふたを開けると天井にあったように見え、見映えも悪く、音も美しく綺麗に響かない。

音芸協10周年記念演奏会のときは、演奏者全員が舞台に昇れなかった。前の客席の椅子を取払い舞台下で演奏した。ピアノ倉庫から舞台にピアノを出すとき、壁とピアノに挟まれそうで危険である。搬入のためのエレベーターはない。参考：このホールにはフルコンサートピアノは大きすぎる。当時業者の勧められるままに購入したようである。

旧ドリームホール

舞台は可動式の台を数個設置し、その台を舞台として使用。台の高さが均等でなく（平面にならない）、昇るためには臨時の階段が取り付けられたが、危険で台上を走ると音がする、揺れる、不安定で、はずれたりしないか心配で危険であった。楽器をその上に置くと一枚の台には乗らないとか、高さが微妙に違い、場所を決めるのに苦労した。舞台袖という場所がなく、外部の狭い通路からドアを開けて、高い敷居をまたいでホールに入らねばならなかった。

立命館フューチャープラザ 大ホール

中学校のブラスバンドの合同演奏会の時は、子供達にとって年に一回のハレの発表の場である。客席は演奏していない生徒たちを座らせると、結構いっぱいになり、父兄達は自分の子供が出場する時だけ会場に入ることが出来、出演しない子どもの父兄は席数が少ないので交替してなんとか対応している。楽屋と言うか待機する場所が少ない。

舞台の使い勝手が良くない。

立命館フューチャープラザ カンファレンスホール

舞台があまりにせまく楽器を演奏するのは無理、やっと一人が講義等をおこなうことを想定した大きさである。舞台袖はなく、舞台への入口が横向きではなく客席の正面を向いているので使いにくい。

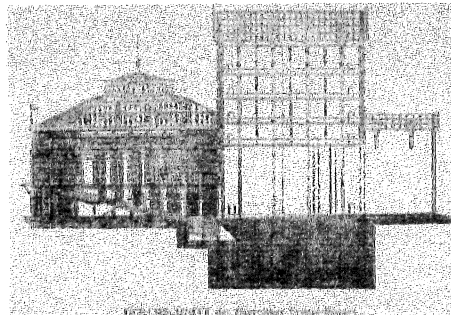
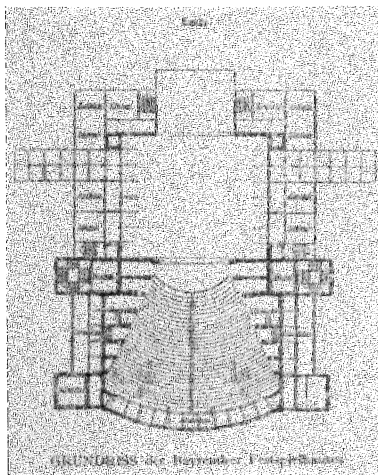
以上の結果、茨木市のホールは

1. どのホールも舞台は狭く、バックヤードの役割をするためのスペースが無い、あったとしても余りに狭く、使い勝手を考えて設計されていない。
2. 楽器や舞台装置等搬入のためのエレベーターが小さい。
3. 楽屋より舞台に行くのに段差や階段があり、平面ではないなど配慮して作られたとは考えられない。
4. バリアフリーに対応していない。

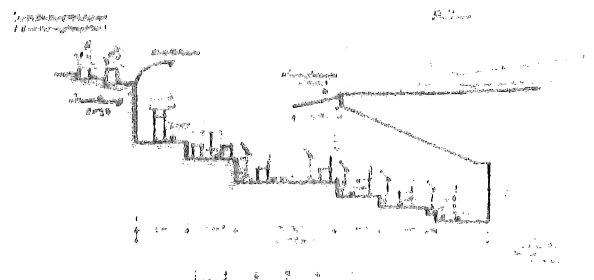
舞台の奥行と幅、高さについて

以下の例はバイロイト祝祭劇場の見取り図です。

舞台の広さとバックヤードとを比べると、バックヤードの方が圧倒的に広い。この劇場はオペラハウス専用のものである。このようなバックヤードは望むべくもないが、舞台展開にはこのようにバックヤードが必要である事がわかる。欧米のオペラハウス等では客席が占める広さは舞台等と同じか、客席の面積の方が狭い場合がよく見られる。



バイロイト祝祭劇場のオーケストラピット



舞台展開をする為にはバックヤードは少なくとも舞台の2～3面の広さが望ましい。

舞台袖は舞台にでるための動きを考慮した広さ、バレー等勢いをつけて出入りをする場合や合唱団等が待機可能でスムーズに出て行けるだけの広さが必要である。

舞台上にオーケストラや合唱等大勢の出演者が乗り切れない事のない様に。

進行上オーケストラピットが必要な場合がある。

オーケストラピットは電動の可動式にするのが望ましいが、設置には対費用、使い勝手等よく考える必要がある。

花道も演出上役割を負っている。

また、練習のためには舞台と同じ広さの部屋やスタジオが必要である。

舞台、バックヤード、舞台袖等に必要なスペースを考えないで、先に客席数をいくつにするかを考えている様に思えるが、舞台等に必要なスペースを確保して、ホールとして必要な広さを検討する。

吊りもの、バトン等必要数を検討し、多くの表現が出来るのが望ましい。

天井高さは、視覚上の問題だけではない。音響板によりホール全体に上手く音を届ける、響かせるのに影響を与える。

以下に他所の例を表に挙げておきますが、茨木市のホールは全て、他に比べて、狭く、奥行も短い事がわかります。奥行と幅、高さがなぜ必要か、舞台展開をする場合は少なくとも2～3面の広さが必要で、バトンはいくつ、ソデはどれくらいとか是非とも使う側に立って確保して頂きます様にお願い致します。

舞台とバックヤード資料